



2011～2012年度
R I テーマ

Reach Within to Embrace Humanity
こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

国際ロータリー会長 カルヤン・バネルジー (国籍・インド)

2720 地区

別府中央ロータリークラブ



例会日 火曜日 12時30分
ところ ホテルニューソルタ 〒874-0801 別府市北浜1-14-15
TEL (0977) 22-1100 FAX 21-1019
事務所 別府市西野口町1番1号 青山通りビル3F
〒874-0931 TEL (0977) 23-9000
FAX (0977) 23-9019
http://www.beppu4rc.jp/chuo/
E-mail:info@beppu4rc.jp

理事	亀井 孝	理事	近藤 賢司	役員	会 長	亀井 孝	S A A	木村きぬゑ
	高宮 勝美		平野 英壽		副会長	高宮 勝美	直前会長	木村きぬゑ
	森 宗明		津末美代子		幹 事	森園 伸也		
	村津 忠久				会 計	河村 貴雄		

VOL. 24-28
2012年1月31日

第1082回例会

会報委員長 大島由美子

- ◆点 鐘 12:30
- ◆体 操 自律神経強化体操
- ◆R S 四つのテスト
- ◆唱 歌 雪
- ◆B. G. M 「ダークダックス・世界のホームソング」より
ラサ・サヤン
トラジ
アロハ・オエ 他

◆出席報告 出席委員長 衛藤 秀子

本日 の 出 席	会 員 総 数	24名
	出 席 者	16名
	事前メイクアップ	0名
	理 事 会 承 認	1名
	出 席 免 除	1名
	欠 席 数	6名
出 席 率	69.56%	
前 々 回 の 訂 正	出 席 率	73.39%
	事後メイクアップ	0名
	理 事 会 承 認	1名
	出 席 免 除	1名
	修 正 出 席 率	86.96%
1/17	連 続	-回
	通 算	743回 100%

会長の時間 会長 亀井 孝

1月29日、震災で大きな被害を受けた宮城県山元町で、歌や詩で被災者を励ます催しが開かれ、俳優の竹下景子さんが復興への願いを込めた詩を朗読しました。

それは、小学6年生が書いた「ない」という題名の詩です。

「ない

見わたせばなにもない そこにあるはずの風景
思い ぜんぶない
でも そこにあった ものをとりもどすために
がんばっている

ほくたちには まえとはちがうが
必ずいいものが 帰ってくるだろう」

震災後、祖父母の住む町をやっとの思いで訪れた時、愛着のある町のそこにあったはずの風景や人々の笑顔が失われているのを目の当たりにしました。その衝撃と復興への思いを支援物資の入っていた段ボールを分解して筆ペンで綴ったそうです。

・メイクアップ

事前
事後
欠席 梶原、平野(英)、堀、大島、
中尾、森園
理事会承認 梶田
出席免除 溝部

まえとはちがう、でも必ずいいもの、復興への希望。現地での厳しい状況に負けずに生きていこうとする、子どもの純粋でまっすぐな強い気持ちを感じます。

ともすれば手元にあるものを全て無くすまいとする私達は、無くした時の挫折からいつまでも立



ち直れずにいるものです。この震災で私達は、未来を担う子ども達に教えられることがたくさんありました。その子ども達に幻滅されることのないような生き方をしていきたいものだと強く思います。

幹事報告

幹事 森園 伸也

一口ロータリー理解推進月間一

1. 本日の卓話
「不死の生命体」 岐部 光男 会員
2. 2012-2013年度 R I テーマ



奉仕を通じて平和を

2012—2013年度
R I 会長 たなか さくじ 田中 作次 氏
(やしお 埼玉・八潮ロータリークラブ)

3. 「R I 第2720地区肥後大津ロータリークラブ 創立40周年記念式典」のご案内
日 時 平成24年 3月31日 (土)
13:00~受付/14:00~点鐘
18:30~祝宴
場 所 記念式典/大津町文化ホール
祝賀会/ピアパレスみいけ
登録料 会員10,000円
ご同伴8,000円 (式典のみ5,000円)
※登録申込み・詳細は幹事または事務局まで
お願いします。
4. 1月27日(金)13:40~ホテルニューツルタに於いて、「第4回別府市内4RC会長・幹事会」が開催され、亀井 孝会長が出席されました。
5. 委員会報告
ロータリー探究:No.307「クラブ活性化の探究」
鳴海淳郎 R 情報委員長より
6. 例会変更のお知らせ
大分中央RC 2月8日(水)の例会は、夜の例会の為 同日18:30~大分第一ホテル 8Fに時間変更
大分南RC 2月10日(金)の例会は、基隆東南扶輪社歓迎例会の為 同日18:30~第二海源丸に時間・場所変更

7. 次週例会の予定
「鶴見岳一気登山 はじめのこぼれ話」
村津忠久 会員
「会員コラム」 大江知巳 会員
*原稿をお願い致します。

8. 本日の回覧
①中津RC 週報
②「2011-2012年度 地区大会」参加申込み
③別府連隊講演会より「扇山」
9. 本日の配布
①週報 No.1081
②抜萃のつづり

スマイルボックス 副委員長 平野 教康

- 岐部会員
早いものです。もう1月が終わろうとしています。いよいよ卓話の日が来ました。温かい心を思っけて聞いて下さい。
- 森会員
お食事中失礼しました。“育児は少しずつで良いのよ！ゆっくりが良いのよ”という唄です。演奏は娘の友人が、コーラスは私の3人目の孫です。“じじばかバンザイ！”
- 津末会員
先日高円宮妃殿下の案内役を受けさせられて気をもみました。宮様から着物を誉められとっても嬉しかったです。
- 後藤会員
本日の岐部会員の卓話、とても楽しみにしていますが、「不死の生命体」って木村会員の話なんですか???
- 河村会員
私の身の回りの新陳代謝をよくする為には不要な物をためている物を徹底して捨てました。何だか気分がすっきりです。お金の回りも良くなるかも。
- 近藤会員
長野県の志賀高原にスキーに行き行って来ました。これで全国のメインのスキー場を制覇しましたが、チョット頑張りすぎて先週風邪をひいてロータリーを欠席してしまいました。今晚、日出ロータリークラブでメイキャップしてきます。
- 村津会員
鶴見岳一気登山大会は、16団体、150人程の



ボランティアの御協力で運営されておりますが、今年、4月8日の第25回大会には、杵築の或る会社から30人程が、新たに加わってくださる事になるようです。

話がまとまりますよう祈念してスマイル。

卓 話

岐部 光男

不死の生命体

私が、生まれ育ったのは、国東半島の国東町です。

国東町には、遺跡や古墳が沢山あり、小学生の頃は近くに、安国寺遺跡がありました。湿地帯のためマムシが出るので、「あぶないから入っては行けん」と言われていたけど、よく遺跡発掘に行き、土器の破片ややじり、石斧など見つけて遊んでいました。そんなこともありまして、古代文明のオーパーツやUFOや科学など「ふしぎなもの」にとっても興味がありました。

オーパーツを知っていますか？ オーパーツとは、その発見された場所、時代とまったくそぐわない品物のことです。

たとえば、コスタリカの石球。1930年にコスタリカの密林で発見された石の球体です。現在まで25トンもあるものから直径2センチの物が、200個以上も発見されています。西暦300～800年に、この地で栄えたディキス石器文化時代の人々が作ったと有力視されています。この石球は、真球度わずか0.2%の誤差のものから、直径が2.0066mの単位までまったく同じ大きさの2個の石球も見つかっています。現代の技術でも作ることが難しい石球。当時は、鉄などは無く、硬い花崗岩を精密に削るにはどのようにしたのか、なぜです。

私はオーパーツやUFOが大好きでした。異星人にUFOに乗せてもらいたくて、いつも空を眺めていました。そんな少年でした。

そんな私が、最近耳にした『不死の生命体ソマチット』に興味をいだきましたので、すこし話したいと思います。この世に、死なない生命体が存在するのでしょうか？ ソマチットとは、ガストン・ネサン博士が、驚異的な解像度の顕微鏡を開発し「ヒトの血液中に極微小な生命体が存在する」ことを発見し、その名をソマチットと名付けた生命体です。

ソマチットはなんと、赤血球の直径の百分の1

にも満たない小ささなのです。高熱下や真空をはじめとする、いかなる厳しい環境であろうと生き延びてきた、特別な能力があります。自分を保護する殻を作ることで、言うなれば、最強のバリアです。

何処から来たか。隕石に殻の状態に入り込み、宇宙をさまいながら、いろんな星に飛来し、一部のソマチットが46億年前、地球誕生時に隕石と共に取り込まれ、地球全体に広がったのです。地球には炭素、酸素、窒素が備わっていたため、活動を再開しました。地球上最古の原始生物です。

ソマチットが地球上の生物の「生みの親」ではないか、生命体にとって不可欠なDNAを創りだす能力があり、バクテリアを創ることができます。数十億年が経ちバクテリアから発展し植物、動物と進化して来ました。地球の上の生命誕生にソマチットが関わっていたと推測されます。ですから、鉱物、あらゆる生命、動物・昆虫・植物に寄生しているのです。

2500万年前、地殻変動で生き埋めになった古代の貝、その貝に殻の状態で避難し、今日まで休眠していた、辛抱強い古代ソマチットもいます。

ソマチットは、水素が大好きです。水素をエネルギー源にしています。

ソマチットはいろんな形に変容(変身)します。血液の状態によって様々な形に姿を変え、病気やストレス、ネガティブな気持ちなどによって体内環境が悪化すると、ソマチットは反応して頑張るタイプのソマチットは、赤血球や血小板の中にもぐり込みます。そうでないソマチットは、尿にまじって外へ逃げてしまいます。また殻をつくって自ら閉じこもって改善を待つものもいます。

ソマチットは、『免疫菌』ではないかと言う博士もいます。人体の中にガン細胞ができると、血液中にソマチットが全く存在しません。非常に奇妙な血液なのです。ソマチットは、避難行動を取ることが判ってきたのです。

ガストン・ネサン博士は、ソマチットの形態変化により、ガン発病予測や独自の免疫強化剤により「75%の治療率」と高い成果を上げています。身体の各器官で、ソマチットの能力は異なります。骨のまわりにいるソマチットは、骨を形成し、肝臓にいるのは、肝臓の働きのサポートをします。脳にいるのは、脳の活性化を行っています。弘法大師空海の言葉に『人は血液の中に、生命の根源をもっている。これを血脈という』と、



述べています。血脈とは、ソマチットのことではないかと考えている人もいます。空海は、「山の中に住み、瞑想し、精神の浄化を図ること。植物のみ食する。滝に打たれる。この修行を千日間続けるならば、悟りを開くことができる。」とも言っています。

植物を食べることは、地球上で細菌が誕生してから、次に植物の時代がやってきて、生命の誕生の起源を探る上で、植物の存在は欠かせないのです。また、動物が生存できるのは、植物があるからです。動物は、植物から栄養を摂取し生命活動を行うようになっていきます。その、植物を生み出すスタートが花粉です。花粉は、硬い殻をかぶっています。殻の中身を観察したところ、70%くらいはソマチットで占められていて、残りは、水とミネラル植物素成分だったそうです。

酸性雨が少なく、水がきれい、空気がきれいな、優れた自然環境で育った花の花粉を摂取した場合、人間に及ぼす影響は非常に優れたものです。さまざまな体調不全に対し驚くほどの、回復力を示すことがわかってきました。

また滝に打たれる行為は、マイナスイオンを体内に取り込むことによりソマチットが元気になるため、ソマチットが元気になると、細胞も元気になります。溶岩の中に、何十億年も殻に閉じこもっていたソマチットが、水素電子に感応して殻から外に出てきて、水の中に飛び込みます。原生林の地下水には、強いエネルギーを持った元気なソマチットがいます。富士山中の湧き出る水を飲むと健康上、良いともいいます、世界各地にも、病を癒す水がありますが、やはり元気なソマチットが

沢山いるからです。

しかし、文明と産業の発展に伴い、水は単なる物質のH2Oという、化学組成でしかないものになってしまったのです。大量の薬品が、水を綺麗にするという理由により、水道局で使われて、私たちの身体に運ばれます。工業排水は、汚染されたまま単に中和されただけで、河川に流れ込んでいます。

農業界でも、科学薬品が、農薬用殺虫剤、肥料という名で田んぼや川、それに繋がる海も汚染しているのです。水は、生命エネルギーを持たない死んだ水となってしまいます。環境汚染が広がり、殻にこもったソマチットや弱いエネルギーのソマチットが多いのです。殻に閉じこもるたび、エネルギーを消耗するからです。

古代ソマチットを多く含んだ貝化石を利用して土壌改良を行う、ソマチット農法を行っている地域もあり、野菜や果樹が立派に育ち、糖度の高いものが取れると言います。植物の免疫力は、すべてソマチットが行っています。無農薬野菜を食べることで、元気なソマチットを体内に入れることができます。

私が、作っているシイタケも完全無農薬です。山の強いエネルギーを得てシイタケが出てきます。椎茸のこどものことを「原基」といいます。原基が大きくなってシイタケになるのです。免疫力を上げるには、原木シイタケが役に立ちます。きっとシイタケには、元気なソマチットが沢山います。原木シイタケを沢山食べて元気になって下さい。

今日の卓話は、おソマチット（お粗末）でした。

会員コラム

鳴海 淳郎

「日本舞踊とわたし」

1968年末別府に帰省して43年になりますが、別府に帰って数年後より日本舞踊の稽古をはじめました。そのきっかけは、別府市医師会で忘年会の幹事を引き受けると、何か踊らなければならないということをお客さんに打ちあげたところ、その日の中に先生が決まってしまったのです。花柳流の花柳幾雅美先生でした。

それから約20年近く稽古が続きましたが、はじめは名取りになるための3つの課題曲からはじまりましたが、途中から「名取りになったら先生大変だ」という人の忠告があってそれは断念することになりました。

黒田節、白扇、松の緑、雨の五郎、新曲浦島、越後獅子、夕月船頭、岸の柳、外記猿など色々稽古を受けましたが、1972年9月8日、別府ロータリー・クラブ創立20周年記念式典において、その時の余興として初めて「黒田節」を踊ったことを思い出します。その後は別府ロータリー・クラブ恒例の新年家族会でのひとこまなど、いろいろ残されていますが、いまでは人生劇場がわたしの十八番として残っております。

ところが、最近になって、色々整理しているうちに、もう亡くなった母が北海道時代に町内の集まりで黒田節を踊っている写真を見つけ出し、感慨にふけているところでした。

今回は、大江知巳会員です。